

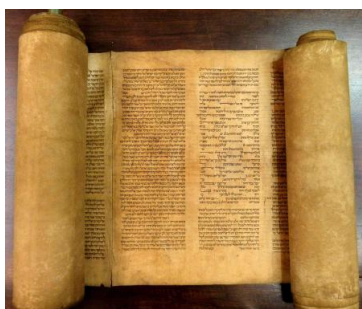
人からの誉れ (41)
相手からの誉れ (44)
唯一の神からの誉れ (44)

ヨハネによる福音書 5章31~47節

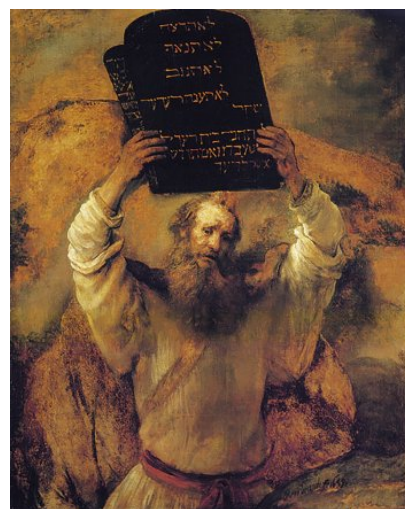
「神を見る目、素直な目」



(バプテスマの) ヨハネ



(旧約) 聖書



モーセ (の十戒)

わたしは真理について証し^{あか}をするために生まれ、そのためにこの世に来た。
真理に属する人は皆、わたしの声を聞く。(ヨハネ 18:37)

しかし、あなたがたが救われるために……。 (34)

熊大ごときの説など。

— 水俣病問題担当の旧・通商産業省役人の言葉。

熊本大学主張の有機水銀説を小馬鹿にして。

ベルトルト・ブレヒト

1898～1956年

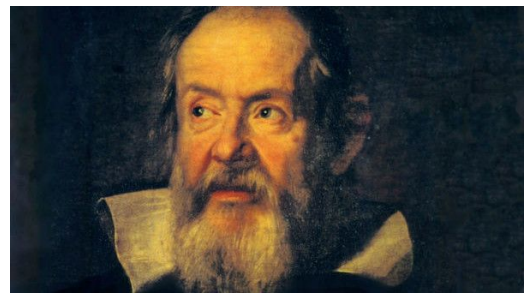
ドイツの劇作家、詩人。

第二次大戦中、反ナチスの亡命生活をおくる。

代表作に、「三文オペラ」「ガリレイの生涯」等。

真理を知らない者はただの馬鹿者である。だが、真理を知っていながら、それを虚偽という者は犯罪人だ。

— 天文学者 ガリレオ・ガリレイの生涯^{えが}を描いた戯曲の中で、ガリレイに言わせて。



分かっちゃうけど、止め^やられない。

— 植木等^{うえきひとし}「スーダラ節」のリフレン。

心というのはなかなか頑^{かたく}なで、こうすりゃいいと思っ^ていても、そうなれない自分が頑^{がん}としているんですね。

・・・私がバプテスマを受けた理由の一つは、そんな自分を崩すものを聖書の中に見つけたからでもあるんです。多少なりとも自分を素直にさせてくれるお方を聖書の中に見出^{みいだ}したからです。

— ある精神科医の方の入信^{あか}の証し。

「わたしの目にはあなたは価高く、^{あた}貴く」(イザヤ 43:4) と・・・記されている。・・・神に愛された者、神の手の中の宝石として・・・宝石になろうという決意に導いてくれたように思う。

私はいまだに、鬼の自分と宝石の自分の間で揺れている。

「^{みけん}未^{われ}見の我」という言葉が好きだ。これから先も、日々新しい自分と出会い続け、毎日を自分の一番若い日として、自分と仲良く暮らしてゆきたいと思っている。

— 修道女 故・^{わたなべかずこ}渡辺和子^{あか}さんの証し。

ノートルダム清心学園理事長、日本カトリック学校連合会理事長を務められた。



素直であるとは、事実を事実として見ること。事柄を事柄そのものとして見て、真っすぐに受け止めること。

素直であるとは 真理や真実に対してのものであり、偽りや誤魔化しに対してはむしろ、それらを鋭く見て取って盲従しない。

聖書はわたしについて^{あか}証しをするものだ。(39)

わたしが来たのは律法や預言者を廃止するためだ、と思っはならない。

廃止するためではなく、完成するためである。(マタイ 5:17)

父がわたしに成し遂げるようにお与えになった業、

つまり、わたしが^{おこな}行っている業そのものが、

父がわたしをお遣わしになったことを^{あか}証ししている。

また、わたしをお遣わしになった父が、わたしについて証しをしてくださる。

(36、37)